

令和元年度自己評価結果公表シート

社会福祉法人 光輪会
なかよしこども園
第二なかよしこども園

1. 本園の教育・保育目標

『耐える心と乗り越える力』を培う教育・保育を目標に、心身共に健康で心豊かな園児の育成を目指します。

(1) 挨拶のしっかりできる子ども

挨拶はコミュニケーションの第一歩です。明るく元気に誰にでも挨拶が出来る子どもを育てます。

(2) 人の話をしっかり聞ける子ども

乳児期から絵本の読み聞かせを多く取り入れます。落ち着いた環境の中で、人の話を聞く態度を身に付け、自分で表現する力を育てます。

(3) 元気になかよく遊べる子ども

散歩や戸外遊びを通し、四季折々の自然に触れのびのびとした環境の中で、遊びを見つける力、遊びを生み出し発展させていける力、無から有を生み出す力を育てます。

(4) 根気強くやり通せる子ども

子どもの可能性を信じ、色々な事に取り組み小さな頑張りを褒め、最後までやり通す意欲を育てます。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

昨年度より取り組んできた子どもの主体性を導く教育・保育が法人全体的に浸透していくように園内研修や外部研修に参加を進めた。3つの柱と10の項目を踏まえた、学ぼうブックを小学館、大学の教授、埼玉県内の園長先生方と進めた結果、教材として形にすることが出来たので、今後活用しながら進めて参りたい。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
① 教育・保育理念・方針の明文化と周知	園の理念、方針、目標は、9月の次年度更新教育・保育説明会や新旧入園説明会、園見学などの機会を使い資料を作成し、施設の説明とともに行う。
② 認定こども園教育・保育要領への対応	子どもの主体性を育むアクティブラーニングの教育・保育の意図と方法を研修等利用しながら、さらに発展的に確立できるように職員皆で進めていく。
③ 職員の資質・保育の質の向上	埼玉県保育士キャリアアップ研修に積極的に参加し、分野の専門職を育成する。保育実践にもできる限り参加し、他園の特徴的な取り組みを知り、自園の活動に活かす。園内研修では、子どもの主体性をはぐくむアクティブラーニングの教育・保育の検討を中心とした研修を計画し、園外研修では保育協議会、ほよう会等々の研修に積極的に参加する。
④ 保幼小中の連携	所沢市幼児教育振興協議会の研修等に参加。近隣の中学校と夏期期間に職員の交流会、保育体験、ディスカッション

	を行い、朝鑑賞の中学校の取り組みを深く理解する。3年生の家庭科の授業を通して生徒と子どもの交流も引き続き行っていく。小学校との連携も、新1年生の入学時に話し合いを設ける。
⑤ 防災・防犯意識の向上	毎月避難消火訓練を行うことや、防犯訓練を行い、緊急時の対応を訓練していく。
⑥ 保育指導内容検討委員会	当法人の保育指導内容を客観的に検討する、委員会を立ち上げ、子どもの主体性を育む指導内容の向上と、資質の向上を図る。

4. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

自分たちの行っている活動が子ども達に何を培おうとしているのかがなかなか理解できない部分があった。5領域や、10の姿をとらえていく視点を常に持っていただくために、小学館や大学の教授、園長先生方や主幹等と職員の可視化できる教材作りにチャレンジし、形にすることが出来た。今後この教材をいかに活用できるかを検討して参りたい。

新たな保育の方法の確立として、子どもたちの主体性を引き出す保育を行ってきた。法人として形になりつつあるが、同時に新たな課題も見えてきた。焦らず根気強く取り組んでまいりたい。地域の会議・公益活動等にも積極的に参加し他法人との協同で公益活動も発展的に行えた。今年度は第二なかよしこども園で第3者評価を受けた。なかよしこども園でも、積極的に受けて参りたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
職員のより一層の資質向上	職員の資質向上、子育て支援の専門職としてキャリアアップ研修に積極的に受講し資格の習得をしていく。新たな教材を使用し子どもの育ちの把握に努められるよう教材の研修等も行う。
教育・保育計画の編成	和光市の保育課程がとてもよく作成されていることから、参考にして光輪会の全体的な計画を検討し、新しく作成しなおしてまいりたい。
教育・保育内容	0, 1, 2歳児は引き続き、信頼関係を深める安心感、愛着形成を満たす保育を充実させ生きる力の土台作りを行っていく。 幼児に関しては縦割り保育、アクティブラーニングの実践も浸透してきている。さらに実践と園内研修を通して確立させていく。 コロナの状況が日増しに深刻化してきている。今後どのようなようになっていくかわからないが、行政とも連絡を密にし状況の変化があった場合には速やかに対処できるように準備を進めていく。また法人としてコロナ感染症の対策について、ガイドラインを作成する。

6. 評価項目の光輪会関係者評価

評価項目	評価
3-①	行事にも参加させていただいているが、必ず理事長が保護者の皆様に理念や方針について自分の言葉で伝えている姿を見ている。「子ども達にこの様になってもらいたいから、今こんなことを行っている、協力していただきたい」等の説明をされていて、とても分かりやすくストレートにお伝えしているように感じる。
3-②	今回は新たな教材作りにもチャレンジされ、子ども達の姿をとらえやすい教材が出来上がったと聞いています。職員の皆さんがしっかり教材を生かせるような保育の展開ができることを期待しています。
3-③	職員の皆さんが一生懸命にいろいろなことにチャレンジされている姿をよく拝見します。色々なところで光輪会に入園したいが人気で入れない、というお話を聞きます、これは皆さんがとても努力され今の時代に必要なことを認識し行動している賜物だと感じています。今後も必要なことを行ってってください。
3-④	理事長がいろいろな学校の評議員等を行っていることで、学校との連携もできているのではないかと感じます。中学校との取り組みはとても素晴らしいし、地域の中でこの法人を活かしていくやり方にとっても感銘を受けます。
3-⑤	安全管理のマニュアルのしっかり整備されていて、毎月の避難消火訓練や、防犯訓練おこなわれている。訓練時に子ども達がしっかりと防災頭巾をかぶって避難できているということで、訓練の成果出ないかと感じます。救命救急講習も積極的に受講されている様で、安全に関して油断のないように今後も進めていただきたい。
3-⑥	何事も起こらないことが大切であるが、自分たちでしっかりと振り返ることができるシステムを作ることはとても大切であると思う。今年度は第二なかよしこども園で外部評価を受講したということだが、客観的な外部の評価を受けるということは素晴らしいと思う。是非続けて行っていただきたい。

7. 光輪会関係者の評価総評

理事・監事・評議員の皆様や近隣の区長、福祉団体、小・中学校、職員に光輪会の活動内容をお話ししご意見を頂いた。

時代の流れがあまりにも早く進み、色々なことをしっかりと吸収していかなければこれからの社会で活躍できる子ども達の育成を間違った方向へ進ませてしまう恐れもある。私たちの活動の重みをしっかりと認識し、今後も活動して行っていただきたいとご意見を頂いた。今後も地域に根差した法人として活動して参りたい。

新たな試みとして和光市での幼保連携型認定こども園の開設を行うにあたり、皆様の賛成を頂きながらも、なかよしこども園、第二なかよしこども園、すみれ児童館の運営にも支障の出ないように努力し、和光市でも素晴らしい園作りを行っていただきたいとの激励を頂いた。

コロナウイルスにかかわらず、近年の環境の変化に十分注意し子ども達の安全を守って行っていただきたい、とのご意見を頂いた。沢山のご意見をしっかりと受け止め皆さんの安心していただき、喜んでいただけるような光輪会の更なる発展を目指してまいります。

8、財務状況

別紙光輪会、資金収支計算書・事業活動計算書・貸借対照表 参照

和光市に開設予定の認定こども園建築資金として各施設から本部に繰り入れを行ったことを説明した。